

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	宮城県手話通訳問題研究会	
代表者名	宮澤 典子	
連絡先 矢澤裕子 TEL : 022-274-1475 FAX : 022-274-1475	E-mail yazaway1993@yahoo.co.jp yazaway1963@docomo.ne.jp	

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	宮城県手話通訳問題研究会行事における情報保障（要約筆記・盲ろう者通訳介助）事業とオンライン開催に係る費用
事業の目的	主催行事において、手話通訳だけではなく文字支援を必要とする聴覚障害者や盲ろう通訳者など、より幅広いニーズに応える情報保障を行う。 また、コロナ禍で集会型とオンライン併用の行事を実施することで今まで参加できなかった人々へ広く当会の活動を周知する。
事業の具体的内容	コロナ禍のため予定していた年 2 回の学習会は中止を余儀なくされたが、当会の目玉である「特別手話講座」は集会型とオンライン併用にて開催。 この行事への参加者の希望に合わせて要約筆記や盲ろう通訳介助の情報保障を提供する。 コロナ対策（消毒・検温など）を徹底し、オンラインに対応できる準備をして実施した。
活動の開始から完了までの流れ	<u>特別手話講座</u> 2021 年 2 月 6 日（土）13:00～15:00 参加者数：会員 43 人 一般 15 人 合計 58 人 仙台市福祉プラザ／オンライン（Zoom） 講演 「国立リハビリテーション学院 宮城学校開校！」

	<p>※集会型とオンライン併催 要約筆記（PC 通訳）4 名 盲ろう通訳介助 2 名 手話通訳（オンラインによる遠隔手話通訳）4 名</p>
活動の成果と教訓	<p>コロナ禍により軒並み行事が中止になったが、年 1 回の特別手話講座は実施したいと感染防止対策を万全にして、集会型とオンラインの併催にこぎつけた。 オンラインでの参加者も多く、効果を実感した。 大学生の参加もあり、当会の活動を PR できたと思う。 参加者には期間限定でオンデマンド視聴できるようにした。当日都合が悪くなった人も講演の内容を後日視聴でき、好評だった。 当初は講師も来県してもらい会場で講演（手話指導および対談）を行う予定だったが、首都圏の緊急事態宣言により講師もリモート参加となった。 講師が会場全体の様子が分からない、オンライン参加者への操作のフォローの難しさ、会場での音声状態が悪くなる（端末使用でハウリング）事態が起きるなど問題点はいくつかあった。今後はこれらの課題を修正していき、次年度にはもっとオンライン開催が円滑に行えるようにしていきたい。</p>
今後の展望など	<p>「情報保障」は合理的配慮の観点からも必要不可欠なものである。主催者側が準備すべきものであるが、金銭的負担が重く、現実的には難しい状況である。 どの福祉団体も余裕がない中で熱意だけでこの局面を乗り切っているところがある。情報保障を予算にどのように組み込んでいくかが今後の課題である。 参加費とのバランスなど検討が必要だと考えている。 自治体の「意思疎通支援事業」を福祉団体の行事にも利用できるかを行政に働きかけるなど、何か策を講じていきたい。</p>

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	240,000 ★	
特別手話講座 参加費	66,500	会員 500 円×43 人 未会員 3,000 円×15 人
合計	306,500	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
講師謝礼 ★	特別手話講座 外部講師：木村晴美氏	30,000	30,000
講師謝礼	特別手話講座 内部講師：宮澤典子氏	30,000	30,000
講師宿泊旅費 ★	※講師リモート参加のため旅費・宿泊代なし	20,000	0
手話通訳料 (オンライン通訳) ★	特別手話講座 1,000 円×4h×4 人	9,000	16,000
要約筆記料 (交通費含む) ★	特別手話講座 通訳料 21,000 交通費 1,220	32,000	22,220
盲ろう通訳介助料 (交通費含む) ★	特別手話講座 通訳介助員 2 人 10,000	18,000	10,000
新型コロナウイルス対策費 ★	オンライン用 PC 消毒料、体温計など	101,000	98,227
事務用品代 ★	用紙代、当日分ウェットティッシュ、印刷代	10,000	1,480
通信費 ★	返信用封筒、現金書留	10,000	954
雑費 (振込手数料) ★	情報保障料 2 件 振込み手数料	10,000	440
記念品代	特別手話講座 500 円×43 人、2,000 円×15 人	90,000	51,500
合計		360,000	260,821

※ 助成金対象費用★合計：179,321 円 (返金額：240,000－179,321＝60,679 円)

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

① 福祉活動助成金 助成活動報告書

プリントアウトしたものを 1 部郵送、データもメールでお送りください。

② 領収書のコピー (郵送)

③ 成果物 (活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送)

*写真は郵送とメールで送ってください。

国立

特別手話講座

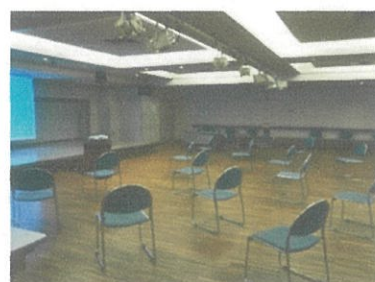
2020
宮城県手話通訳問題研究会

リハビリテーション学院 宮城学校開校！

2/6
(土)

コロナに翻弄された2020年。学習会も例会もできない、みんなにも会えない、こんな「ないない」づくしに翻弄されているのか？！今できること、今だからできることを考え、2020年度の特別手話講座を開催しました。ご参加いただいたみなさん、たくさんのコメントもありがとうございます。

会場では、朝から感染防止対策。机をふきふき、受付には飛沫防止パネルを、参加者の座席も間隔をあけて。



オンラインでは、映像や音響の確認や、遠隔地で待機している講師との打ち合わせ。時間が近づくと、会場にもオンライン上にも続々と参加者が。



いよいよ、特別手話講座の国リハ宮城学校の開校です！会場・オンラインでご参加のみなさんに、授業を受けていただきました。

1 時限目 「手話Ⅲ（文法）」木村晴美先生



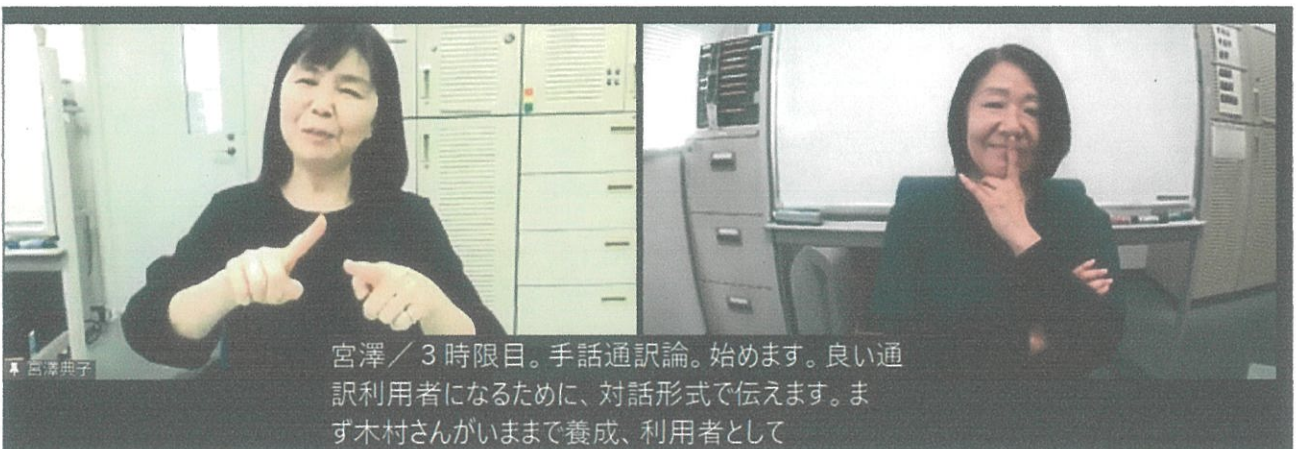
A 否定 B の手法は、出来ていない手法なので身につけて会話を成立させたいです。

2 時限目 通訳Ⅰ（手話から日本語への通訳）」宮澤典子先生



- ・日本語を適切な表現に置き換える際に、状況や通訳者の意図を相応しく反映することの大切さが良く理解できました。
- ・宮澤さんの講義の内容は難しかったのですが、とても勉強になりました。

3 時限目 「手話通訳論」木村先生・宮澤先生



体形の表れる服装の話や
ゆずり葉のケンカ場面の
通訳、通訳者の SNS の使
い方など通訳士養成の現
場ならではの話を聞く
事ができ、興味深かった
です。

通訳者としての心構
えに関して、今更なが
ら反省し、気をつけな
ければと思いました。

木村先生と宮澤先
生の手話でのやり
とりがとても印象
に残りました。

オンラインでの手話学習、オンライン上の手話通訳、文字通訳。すべてが初めてづくして、お見苦しい点もあったかと思います。

参加申し込みの方には、実施後 1 か月のオンデマンド映像の視聴期間を設けました。当日、急遽参加ができなくなった方も楽しめたり、当日の手話学習を自分のペースで振り返ることができたり、新たな参加の形を確認することができました。

授業形態でご指導いただ
けアドバイスいただける
なんて贅沢な時間でした。
オンデマンドでも繰り返し
見たいと思います。

オンラインは慣れるまでは いろいろ大変なことだと思
いますが、今まで 遠距離だった人とも身近にやり取りが
できるコンテンツだと考えると 時間に余裕ができたなら
オンラインも学ぶことも必要な…と感じました。素敵
な手話の学びの時間をありがとうございました。

オンラインで実
技指導を受けら
れることが印象
的でした。

講師の先生がたは常に会場の様子が
見たかったのではないかと感
じました。今回は画期的な試
みがたくさんで興味深い形
式でした。歴史の 1 ページ
に立ち会えて嬉しく思いま
した。

後日の録画視聴も
復習ができるの
で、非常にありが
たいです。

まだまだ翻弄されながら、次はもっといい時間にしていきたいと思います。

(事務局 及川麻衣子)